

■平成30年度

市立大森病院 事務局

組織目標管理シート

No.	課室 所名	目標項目	難易度 (ABC)	目標の内容				目標に対する活動(上半期レビュー)		目標達成の状況(output・input)		成果分析[outcome]	
				目標指標の内容	目標の基準値	目標達成時期	目標値	目標達成のための具体的方法	【現 状】	【ギャップと対策】	①達成値・実績値	②取組・行動内容	③目標達成による成果
				(何を)	(目標設定時の状態・比較実績)	(いつまでに)	(どの水準までとする・達成後の状態)	(具体的な取組・行動の内容・スケジュールの概要など)	上期(4月～9月)の取組実績(具体的活動・行動)	下期(10月～3月)に向けた課題と取組の予定(具体的活動・行動)	(目標の達成状況・現在の状態)	(目標達成のために行った取組・行動)	(目標の達成による効果、目標達成できなかった事由)
業務改善取組①	大森病院事務局	経営健全化に向けた取り組み	A	収益確保と経費削減に 取り組み、経営健全化を 目指す	H28経常収支94.2% (H23～マイナス収支)	年度末	類似団体並の経常収支比率 (H28 98.1%)	・職員のコスト意識の醸成と経費削減(新電力、ESCO事業の検討、保育所の直営化等) ・W改定への対応と収益確保(入院・外来患者の確保、一人当たり単価のアップ等)	・収益確保⇒前年度同期比入院(419人1.6%増)外来(852人2.2%増) ・新電力⇒東北電力と部分供給が可能な業者を選定し8/1供給開始 ・保育所⇒保育士及び調理師を確保し体制を整えながら直営化	・収益確保⇒患者数は回復傾向にあるが、一人当たり単価が伸び悩んでおり、対応強化が必要 ・ESCO事業⇒資料収集や業者ヒアリングを実施するも確実な効果が見込めない状況、調査の継続	H29経常収支比率96.9%を上回る見込み(3/29現在数値は未確定)	・施設基準の見直しによる新規届出 ・職員のコスト意識の醸成を図った徹底した経費削減 ・電気供給契約を部分供給に変更 ・院内保育所の直営化による経費削減	・経常収支比率が上昇し経営改善につながった。 ・3/29現在の推定値として総入院患者数は減少し、総外来患者数は増加の見込み。
重点取組①	大森病院事務局	働き方改革への対応	B	業務の見直しによる職員の負担軽減、適切な職員配置による職場環境の改善	・職員満足度調査満足 29.1%	年度末	・職員満足度の向上	・業務見直しによる時間外労働の削減 ・メンタルヘルス対策の充実 ・WLBの推進 ・クラークの配置 ・院内保育所の安定経営	・勤務医、看護職員負担軽減計画を策定し、アンケート調査を実施。 ・ストレスチェックの実施(メンタルヘルス面談該当者なし) ・ワークライフバランス委員会の開催及び働き方改革ワークショップ実施 ・クラーク(医師事務補助者)2名増員	・患者増により時間外労働増加傾向⇒効率化による削減の強化 ・職員満足度調査の実施	職員満足度調査満足 30.3%	・勤務医、看護職員負担軽減計画を策定し、アンケート調査を実施。また、ストレスチェック及び満足度調査を実施 ・定期的な労働安全衛生委員会、ワークライフバランス委員会の開催、及び働き方改革ワークショップを実施し、その結果を踏まえた労働環境を整備 ・クラーク(医師事務補助者)2名増員ほか職員の確保 ・休暇取得の推進	・前年度の満足度より1.2ポイントアップ ・職員の労働環境の整備により、働きやすい職場づくり ⇒ 満足度アップ ⇒ 患者サービスの向上につながった。
重点取組②	大森病院事務局	診療報酬、介護報酬同時改定への対応	B	平成30年度同時改定により新たに算定可能となる項目の確保	・H29医療収益の減	年度末	施設基準 新規届出3項目以上 ・初診料 機能強化加算 ・在宅復帰機能加算 ・看護補助加算夜間75対1等	施設基準取得に必要な要件等の調査と分析	◇次の新規項目を届出・算定開始 ・4/1初診料機能強化加算 ・7/1療養病棟入院基本料在宅復帰機能強化加算 ・7/1看護補助体制加算(夜間75:1) ・8/1地域包括ケア入院医療管理料1ほか	・引き続き新規の施設基準取得に必要な要件等の調査と分析	施設基準新規届出項目 4項目	・施設基準取得に必要な要件等の調査と分析を行い、職員体制及び入院患者の調整等を実施しながら新規届出	・入院の診療報酬本体部分合計では、2%を超える医療収益の向上につながった。
重点取組③	大森病院事務局	後期研修プログラム専攻医の確保	A	・総合診療専門研修プログラム、家庭医療専門研修プログラム専攻医の確保(基幹型)	専攻医数 基幹 1名 連携 1名	年度末	専攻医 基幹 2名 連携 1名	・専門研修プログラム説明会等への参加 ・県内の基幹・連携施設との連携 ・SNS等を活用した専攻医の募集	・6/28新専門研修プログラム説明会2018参加(秋田大学本道40周年記念館) ・専攻医募集の実施及び確保対策の推進 ・10/28レジナビ(仙台)で資料配布 ・県内基幹施設等からの情報収集	・専攻医募集の実施及び確保対策の推進 ・10/28レジナビ(仙台)で資料配布	専攻医 なし	・各種研修プログラム説明会への参画 ・県内基幹連携施設との情報交換 ・総合診療専門医に理解や興味を示す医師の発掘調査	・総合診療専門医プログラムを専攻する後期研修医の不足 ・新制度のため未だ医師側に浸透していない。